

古今中外雑部

雑部

六



卷六目錄

雜部

曾找地足筆 ソガミソリ

一休和尚筆

光悅筆 カウユウ

松花堂上筆 ヒラタリタラ

十二支筆者不知

宗達筆

光琳筆

立圃筆

大鵬和尚筆 オウ

葛登流筆

池煙齋刷筆

仁教筆

菱川吉三樹筆 北殿主筆 テラス

古閑筆

踏破繩鞋任之灰改土
 西月他頻白言
 東伐慈氏佛
 我認昔心
 同在人



東海經一休拜贊

曾我蛇足筆

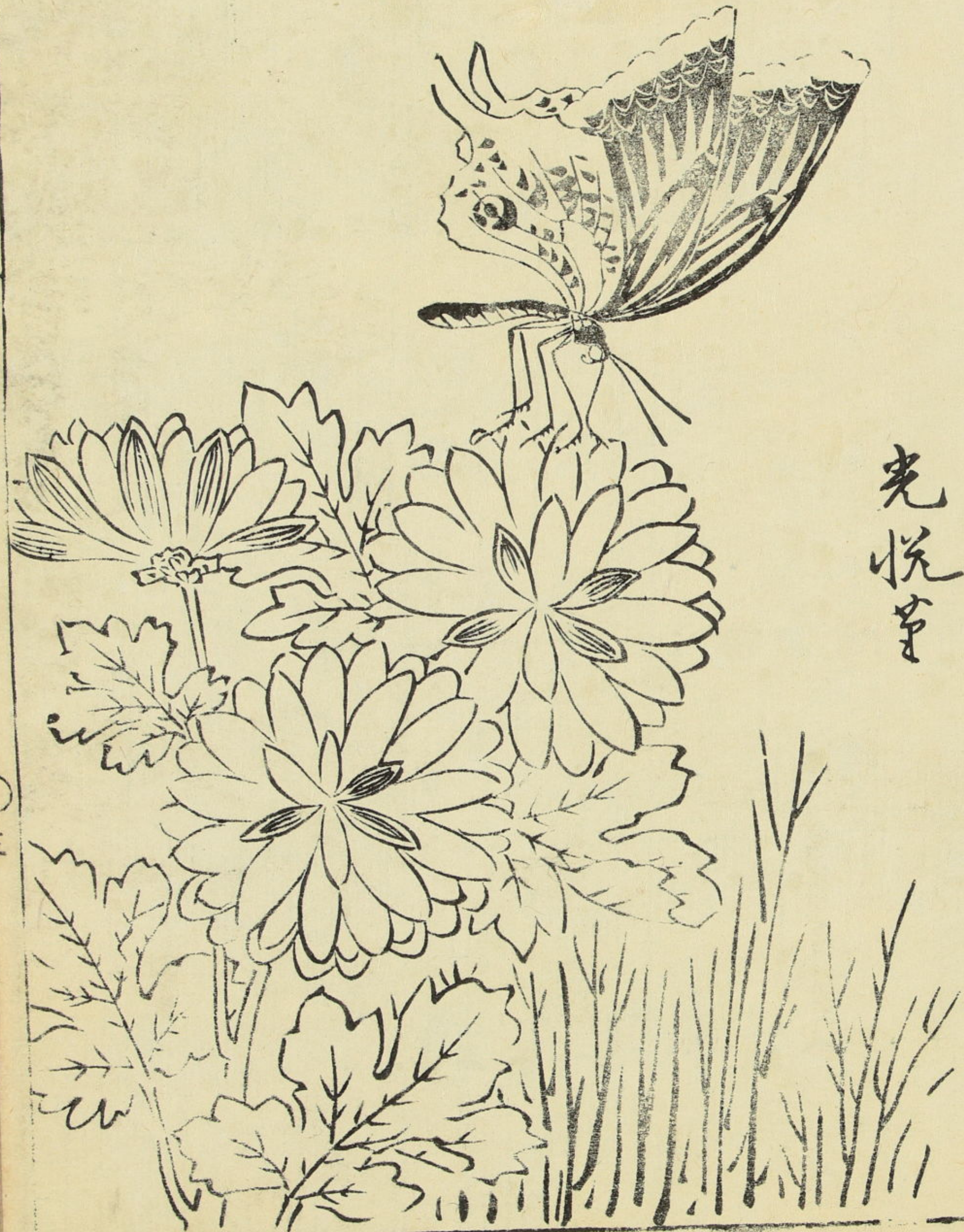
床榮庵室物
 一休朱大月之像自蚤自讚
 五十五之圖

左ノ朱サマ
 衣子ツミ
 裝束カキ



畫後曰

文明十三年^辛丑二月廿日



光悦草



光悦草



老翁南了太白

光輝如笑

醉人百

也日長

不知終



此正昭乘考

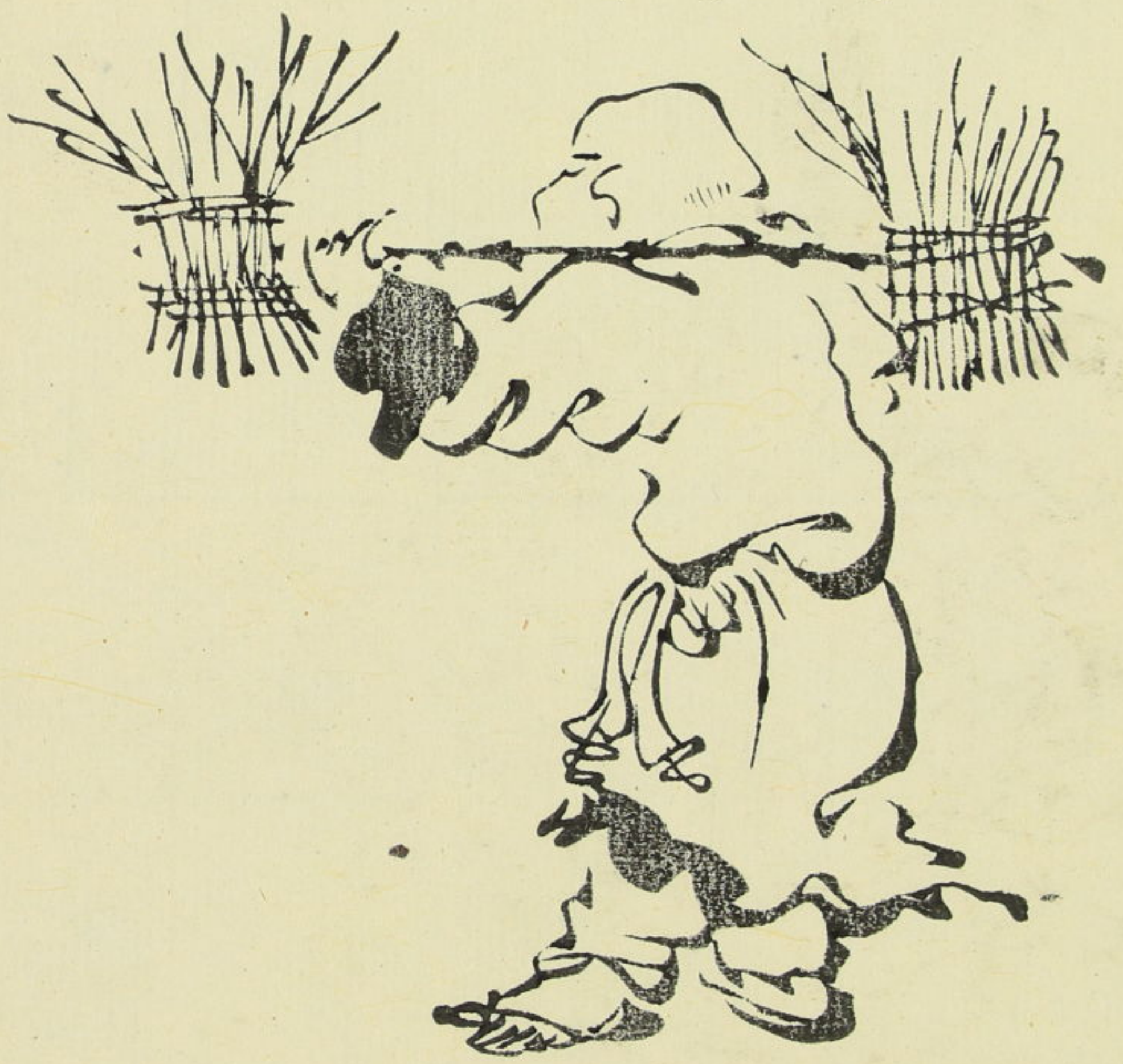
自畫自讚

一肩一束以薪
 奉母重千鈞
 收拾金剛體
 今年貧始貧

宗阮拜賀



葵江月羊寫



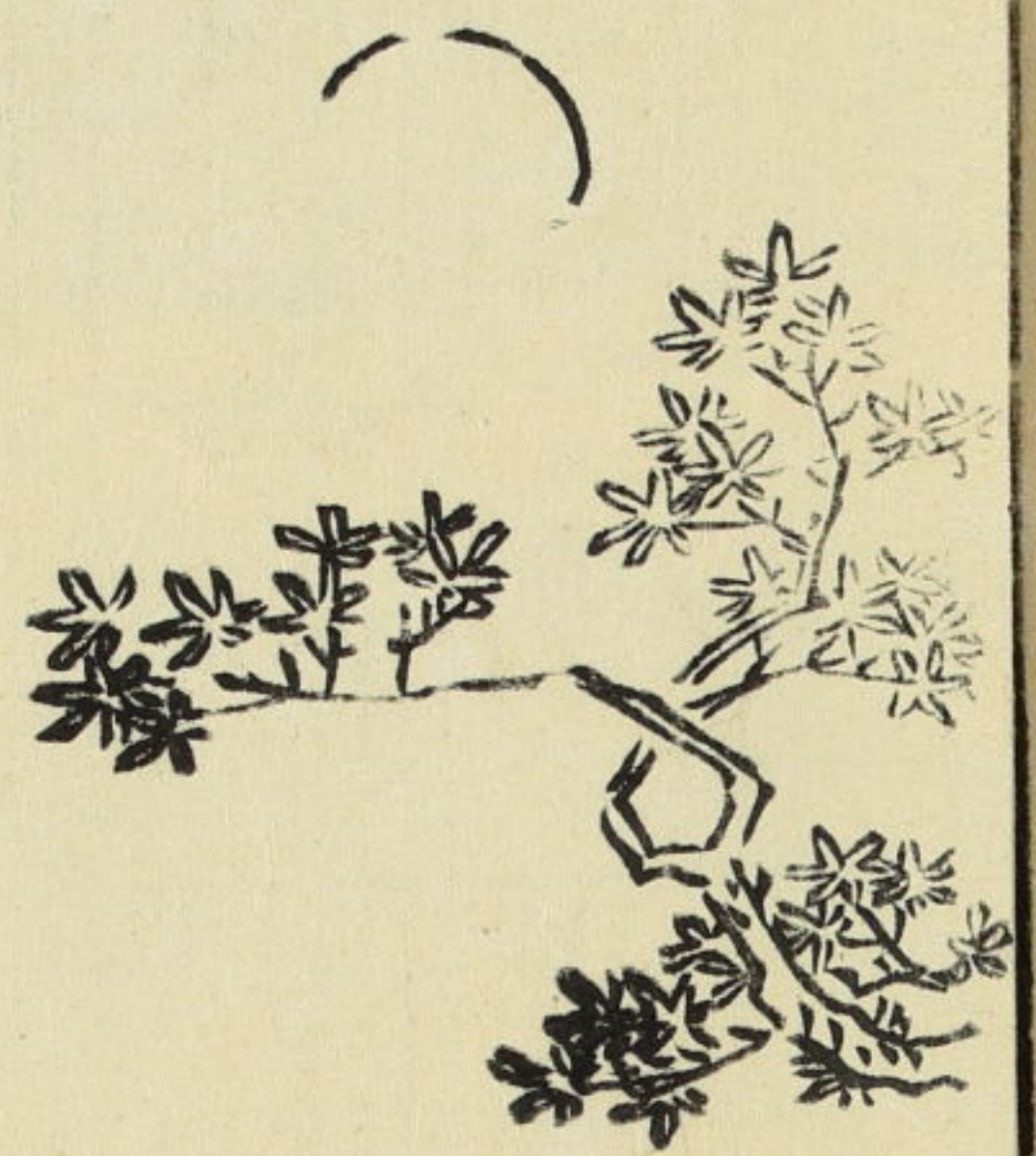
りるるるるる

月々々々秋

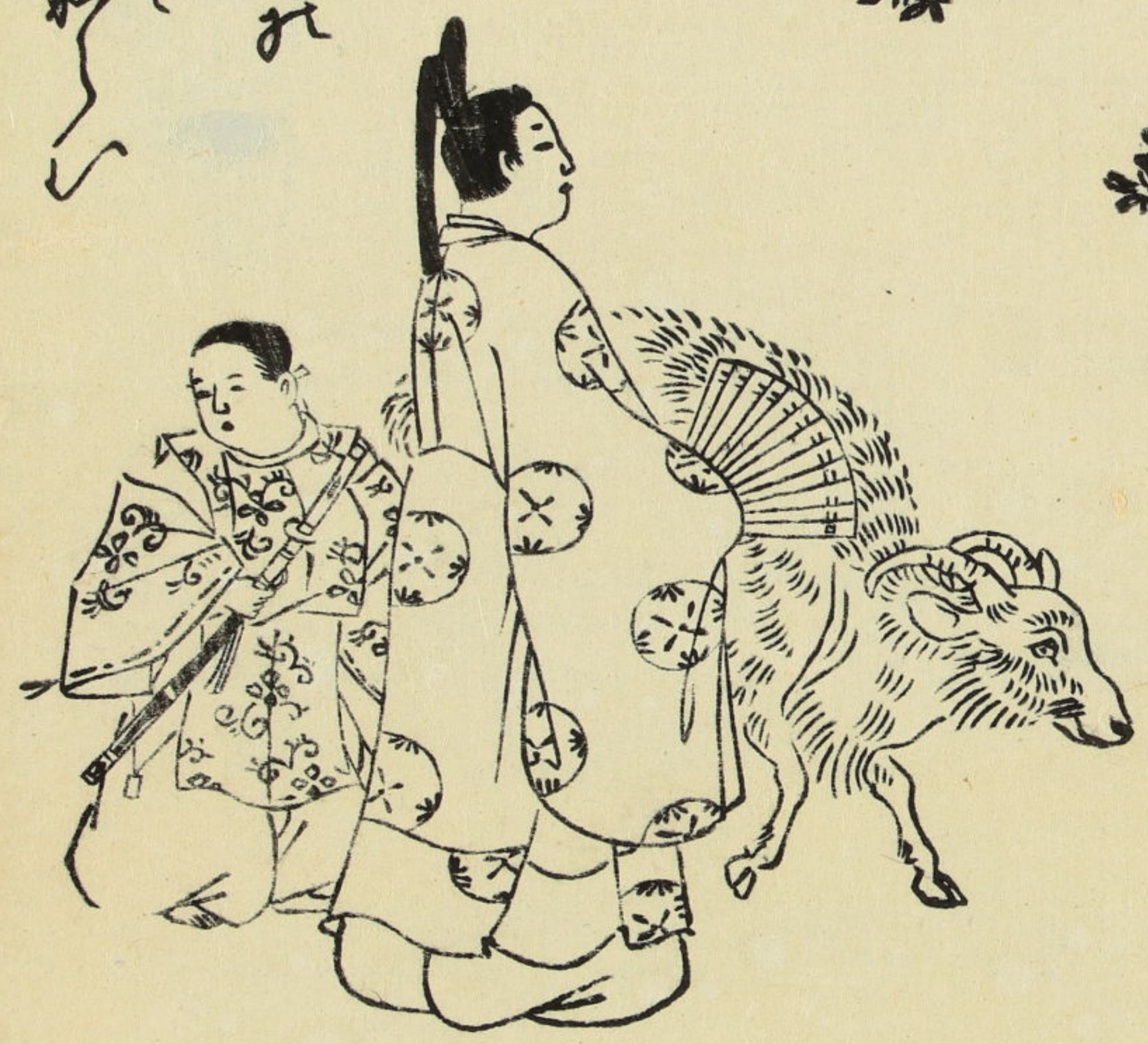
人々々々々

りるるるるる

りるるるるる



未



申

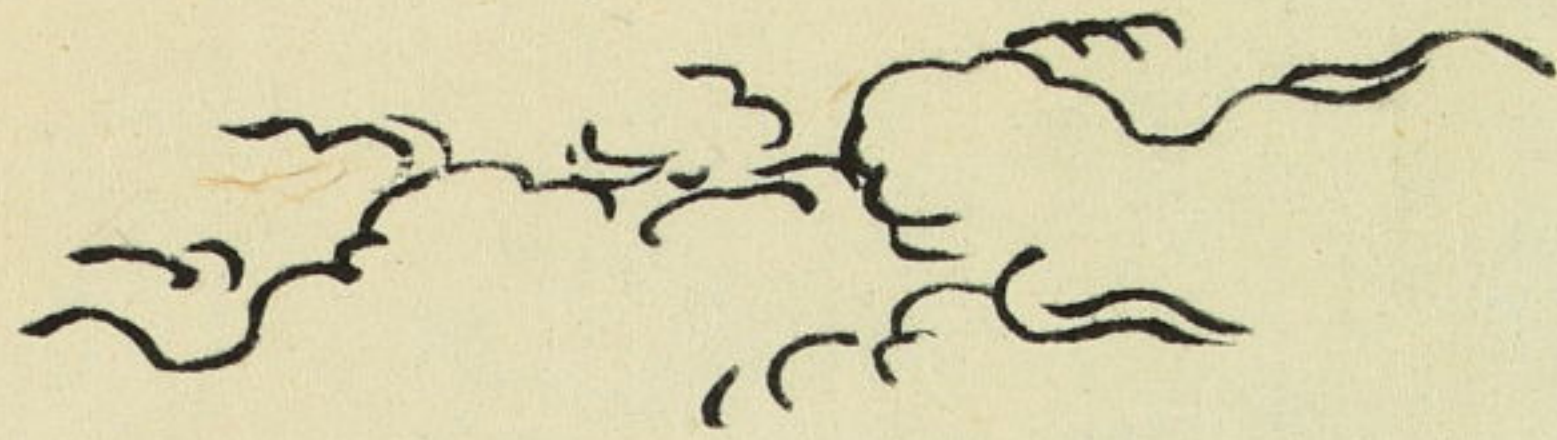
あつちん
あつちん



あつちん

あつちん

あつちん



酒

あつちん

あつちん

あつちん

あつちん

あつちん



戌

里のたれ

月く

乃

あま

たも

かち

人ま

思ひ



亥

月戌く
あれ

きか

あを乃乃の

ふい

雲もさう





京大佛養良源院移戶

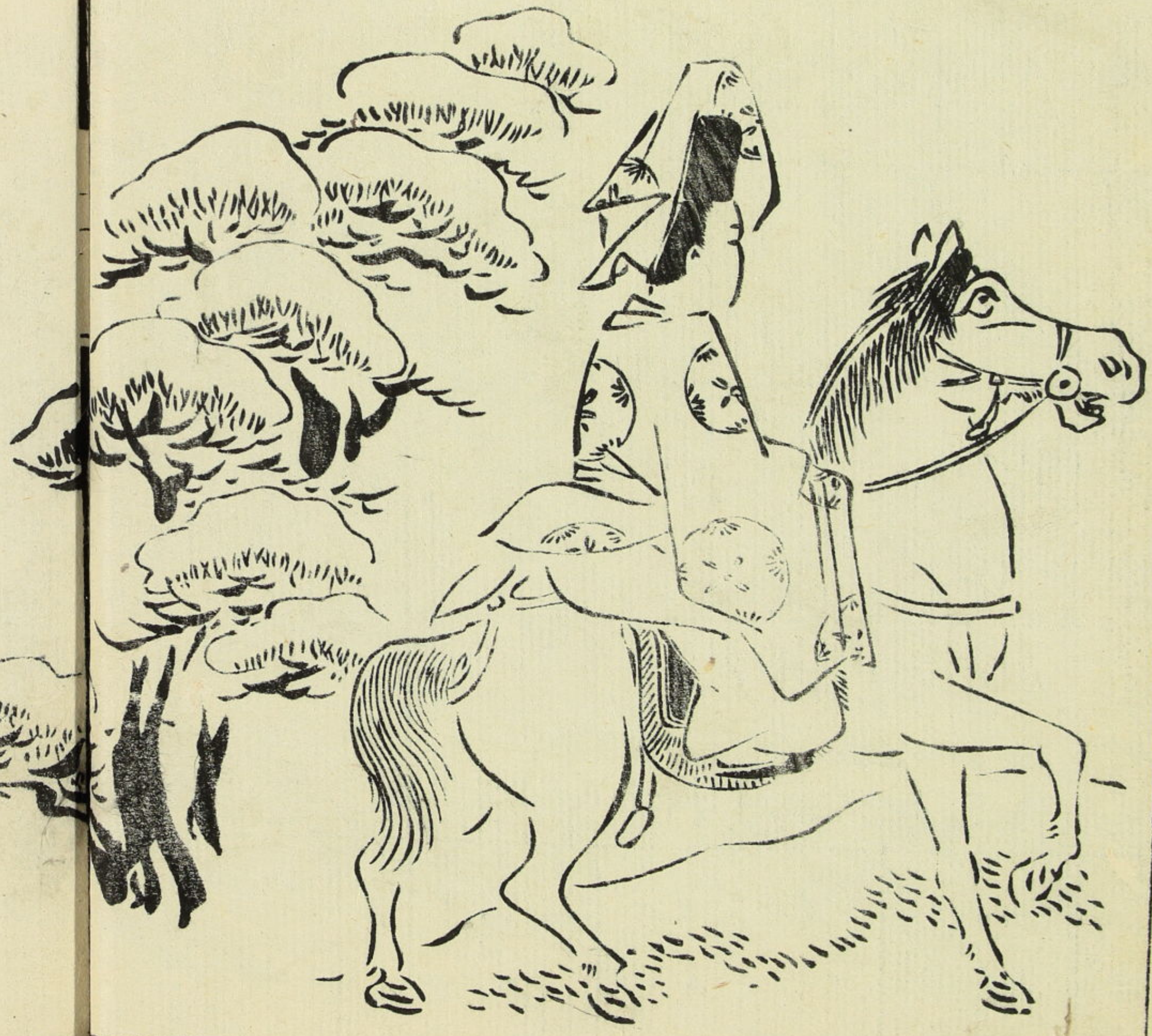
宗達筆

光琳筆



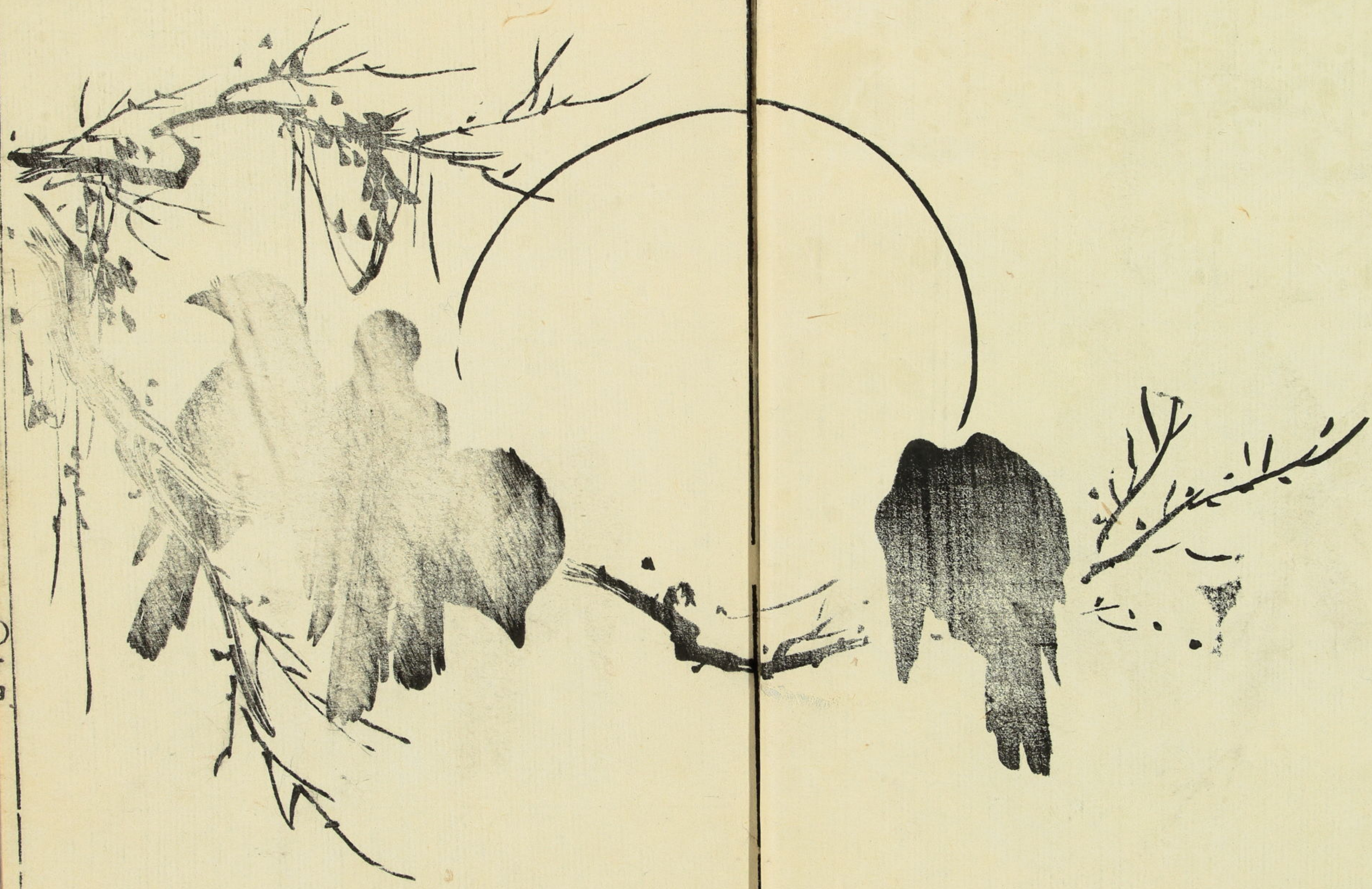
法橋光祿筆

史家



右同

卷六
三



卷六
三

伊勢之御師

守武

山崎居士

宗鑑

信長宗也

貞徳

如意八子細
有免



笠置上人
貞室

宗教才子
梅翁宗因

禅之居士

芭蕉

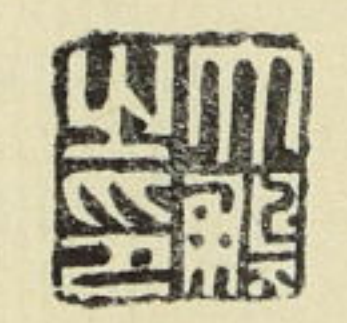


右六誦立圍筆

多蒙方笑公賜字



友和温陵吹石



福齋寺七代住
唐僧大鵬和尚筆





六
七



六
七



ね方の家通池柳を真柳に事々かきつり
 女たりし柳園の法を修く一問は世に
 具柳は真柳子の毒像と事々のとむ雲
 融くくろくまらふまらふ

目も鼻と凡ハ

子も

くらや

おまわりの

け人なる

まとりまらひ



池柳所門人仁教

自畫自像

見て

深む

あて

うら

ま

ひくおて

たま

まのり



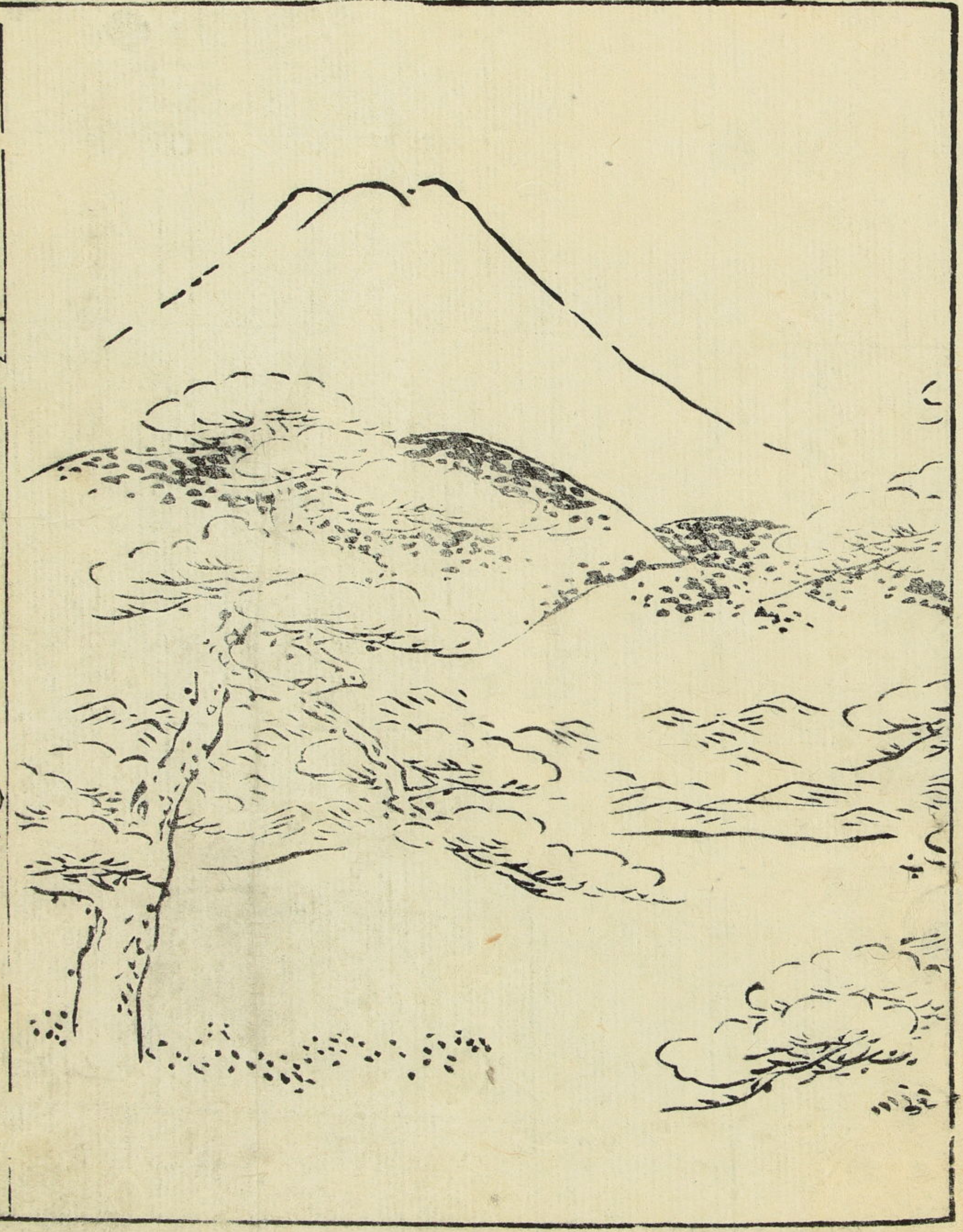
ね方の真柳あてふまらひ

美川若尾師直



美川

若尾



美川

若尾

北殿主破衲之像自益

其後亦小なりて其白髪禿と云く時
澄然と在りて病子野と一といひ
形を以て其を新小形像の圖
半ありて耶我自之像を

退耕菴性海

其上、梵ス

衣破戒不破
身貧道不貧



